



園と学校、互いの教育内容や指導方法の理解を深められるよう、夏休み期間を利用して、園と小学校等の教職員等の連携・交流の充実に努めましょう。

鳥取県の幼保小連携・接続のポイント「3つのつなぐ」

組織をつなぐ

- 管理職同士のつながり（連絡協議会等）
- 連携推進担当者同士のつながり（連絡会等）
- 架け橋期の子どもの育ちについての引継ぎ
- 園、学校、学級だより等の送付・掲示等

人をつなぐ

- 子ども同士の交流
 - ・互いのねらいを明確にした交流
- 教職員等の相互理解
 - ・保育参観・授業参観
 - ・保育体験
 - ・授業補助体験等

教育をつなぐ

- 期待する子ども像（めざす子ども像）についての協議
- 共通の視点での話し合い・相互理解
- 架け橋期のカリキュラムの編成・実践・評価・改善



【参考】

第4次鳥取県幼児教育振興プログラム「遊びきる子ども」（令和7年度改訂）P.53～64



幼保小連携・接続の実践例（令和6年度 美保中学校区）

① 合同研修会

② 事前打ち合わせ会

☆保育のねらいを共有する

③ 公開保育・保育体験

④ 事後協議

☆子どもの姿を付箋に書いて整理・分析

☆幼保小接続アドバイザーからの「資質・能力、主体的・対話的で深い学びのつながり」についての講演



実践のポイント



- ・見学や体験について、事前事後の対話の機会を持ちましょう。
- ・園と学校で期待する子どもの姿（めざす子どもの姿）を共有しましょう。
- ・対話を通して子どもたちのことを共に語り合い、保育・教育の改善につなげていきましょう。
- ・幼保小合同研修会を実施し、「幼保小の架け橋プログラム」について学びましょう。

令和7年度第1回幼保小接続推進研修会
（オンライン開催）

日時：令和7年7月25日（金）

午後1時30分から午後4時15分まで

内容：講義・演習

「幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに～」
名古屋学芸大学 教授 津金 美智子 氏



この研修を校区の園・小学校・義務教育学校等の合同研修会として同じ場で一緒に受講し、今後の取組について話し合うとより効果的です。ぜひ、参加をご検討ください!!
開催要項等は、6月17日付けで小中学校課より通知しております。締め切りが間近となっております。各市町村教育委員会の学校教育担当課及び保育担当課より提示されている締め切り日を御確認の上、お申し込みください。

